

【輸入車の台数は全体的に微減傾向】

昨年海外から国内に持ち込まれた輸入キャンピングカーの総台数は 286 台（前年比 83.6%）となりました。輸入車は、2012 年に 383 台の輸入台数を記録して以来、2 年連続減少傾向を示しましたが、その理由は、北米車においてはモーターホームの大型化によって日本の法規制に適合しない車種が増えたこと。ヨーロッパ車においては日本の厳しい排ガス規制による、審査基準の厳格化が高いハードルとなっていることが原因となっています。しかし、それらの厳しい条件下で、むしろ健闘しているといえます。

ジャンル別に見ると、輸入台数がいちばん多いのはキャンピングトレーラーの 184 台で、全体の構成比で見ると 64.3%を占めました。また、クラス A、クラス B、クラス C、キャンピングカートレーラーなどすべてのジャンルにおいて欧州製のものが北米製を上回り、欧州車と北米車の輸入比率は、約 10 対 2 となりました。

◆ 輸入キャンピングカー数

車種	年			
	2011年 台数	2012年 台数	2013年 台数	2014年 台数
クラスA(フルコン)	12	45	44	37
クラスB(バンコン)	15	72	13	13
クラスC(キャブコン、アルコーブ)	64	19	57	52
キャンピングトレーラー	122	239	207	184
その他・8ナンバー以外	5	8	21	0
合計	218	383	342	286

